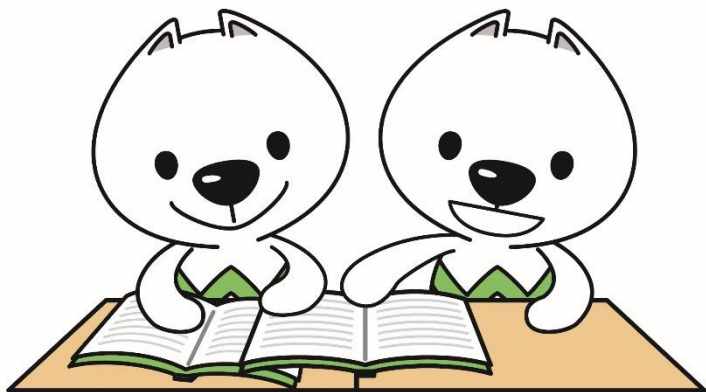


令和4年度国語問題研究協議会 「社会における漢字の現在地」

取組報告②

漢字学習の現状とこれから



和歌山県教育庁学校教育局
県立学校教育課
指導主事 石本千夏

もくじ

- 1 はじめに
- 2 和歌山県の漢字学習に係る取組
- 3 アンケート調査から
 - ・ 漢字学習・漢字指導の現状
 - ・ デジタル時代における
漢字に対する意識
 - ・ 漢字学習の課題
- 4 まとめ



1 はじめに

- 「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」 (平成28年2月 文化庁)より

(1) 「漢字を手書きすることの重要性」(「改定常用漢字表」)の概要

- ・ 「漢字の習得及び運用面とのかかわり」

手書き = 様々な感覚が複合する形でかかわる
→ 脳の活性化・漢字の習得に大きく寄与

- ・ 「手書き自体が大切な文化である」

手書き = 書き手の個性が表れる等

1 はじめに

- 「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」 (平成28年2月 文化庁)より

(2) 「国語に関する世論調査」に見る、文字の「手書き」についての日本人の意識
(平成26年度調査 全国16歳以上の男女 総回答数1,942)

- ・ 文字を手書きする習慣は、これからの時代においても大切にすべきであると思う。 . . . 91.5%

印刷文字 = 再現性の高い情報の保存、正確な伝達
手書きの文字 = 印刷文字にはない付加的な価値

1 はじめに

- 「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」 (平成28年2月 文化庁)より

(3) 漢字の「手書き」と字体認識能力の関係

「漢字を正確に弁別し、的確に運用する能力の形成及びその伸長・充実に結び付く」(H22文化審議会答申)

何度も手書きする → 字体を認識する力を深める

(4) 漢字の運用面における「手書き」

手書き = 身体性を伴う
唯一無二性
気持ちをより直接的に伝える
アイデアや思考を深める (手軽さ・自由度)

1 はじめに

- 「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」 (平成28年2月 文化庁)より

(5) 文化としての「手書き」

情報機器による「入力」という書記行為
= 「手で書くということ」を取り巻く環境は
今後もさらに変化していく

デジタル機器に触れる機会の多い高等学校段階において、漢字の学習や指導はどのように行われ、どのような意識をもっているのか。



2 和歌山県の漢字学習に係る取組

和歌山県の取組

(25)	(24)	(23)	(22)	(21)	(20)	(19)	(18)	(17)	(16)	(15)	(14)	(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	次の	見本
「宛先」を記入する	温泉の「湧出」	色が「割」ける	夢を「掛」める	「既製」服を着る	心臓を「患」う	大統領に「謁見」する	「輪郭」がはつきりする	「種族」な配置	「完成」の反応	「兼売」品を買う	「区際」物資の不足	人権を「擁護」する	政談が「	「皮膜」	裁判の「	「書面」	「兼備」	「肌着」	「プレイ」	「貝塚」	「漏電」	湖を「干	「促成」	「桑」の		



漢字の博士試験

令和4年度第1期 令和4年5月26日(木)～7月15日(金)

漢字学習基準表

練習問題 **見本問題**

※ 令和3年度から漢字学習基準表及び練習問題を変更しています。

ユーザーID・パスワードが必要です。

試験問題 **受験状況入力**

令和4年度「漢字の博士試験」実施要項

令和4年度「漢字の博士試験」実施細則



ダウンロード

Microsoft Excel 2007以降のバージョンで動作確認をしています。

3級 4級 5級

3級 9級 10級

3級 14級 15級

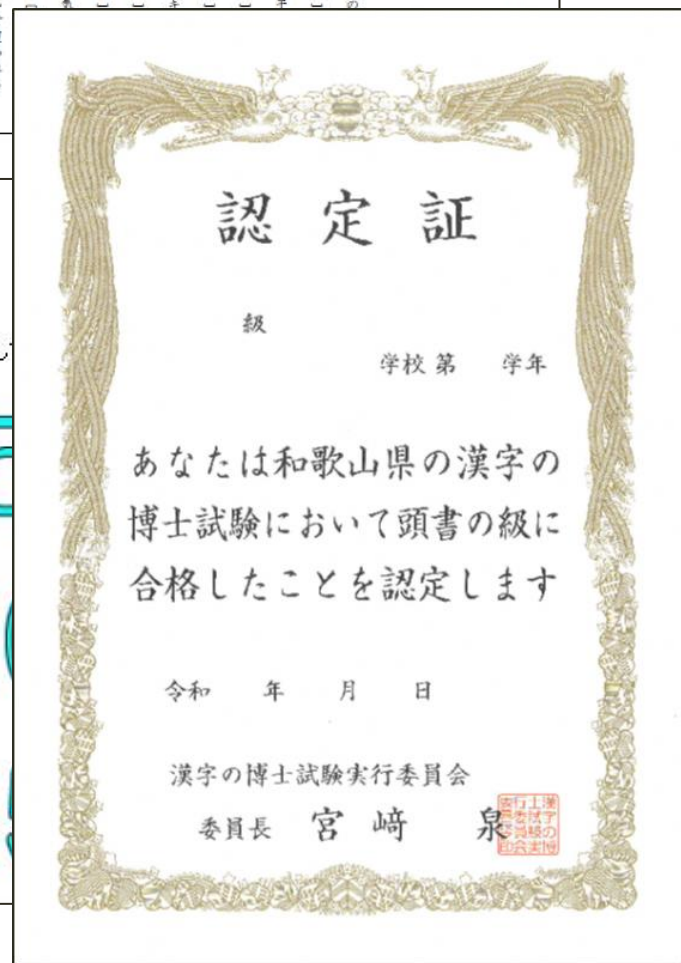
2 和歌山県の漢字学習に係る取組

(25)	(24)	(23)	(22)	(21)	(20)	(19)	(18)	(17)	(16)	(15)	(14)	(13)	(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	次の	見本
(元光)を記入する	温泉の(湧出)	色が(割)げる	夢を(語)める	(既製)服を着る	心(懸)を(見)う	大統領に(謁見)する	(輪郭)がは(き)りする	(機使)な配置	(光皮)の反応	(兼売)品を買う	(医療)物資の不足	人権を(擁護)する	校旗が(翻)る	(皮膜)で覆われる	裁判の(開)	(香西)香	(差押)	(肌着)	ア(プ)レ(イ)キ	(月塚)	(漏電)	湖を(干)	(従成)	(桑)の		

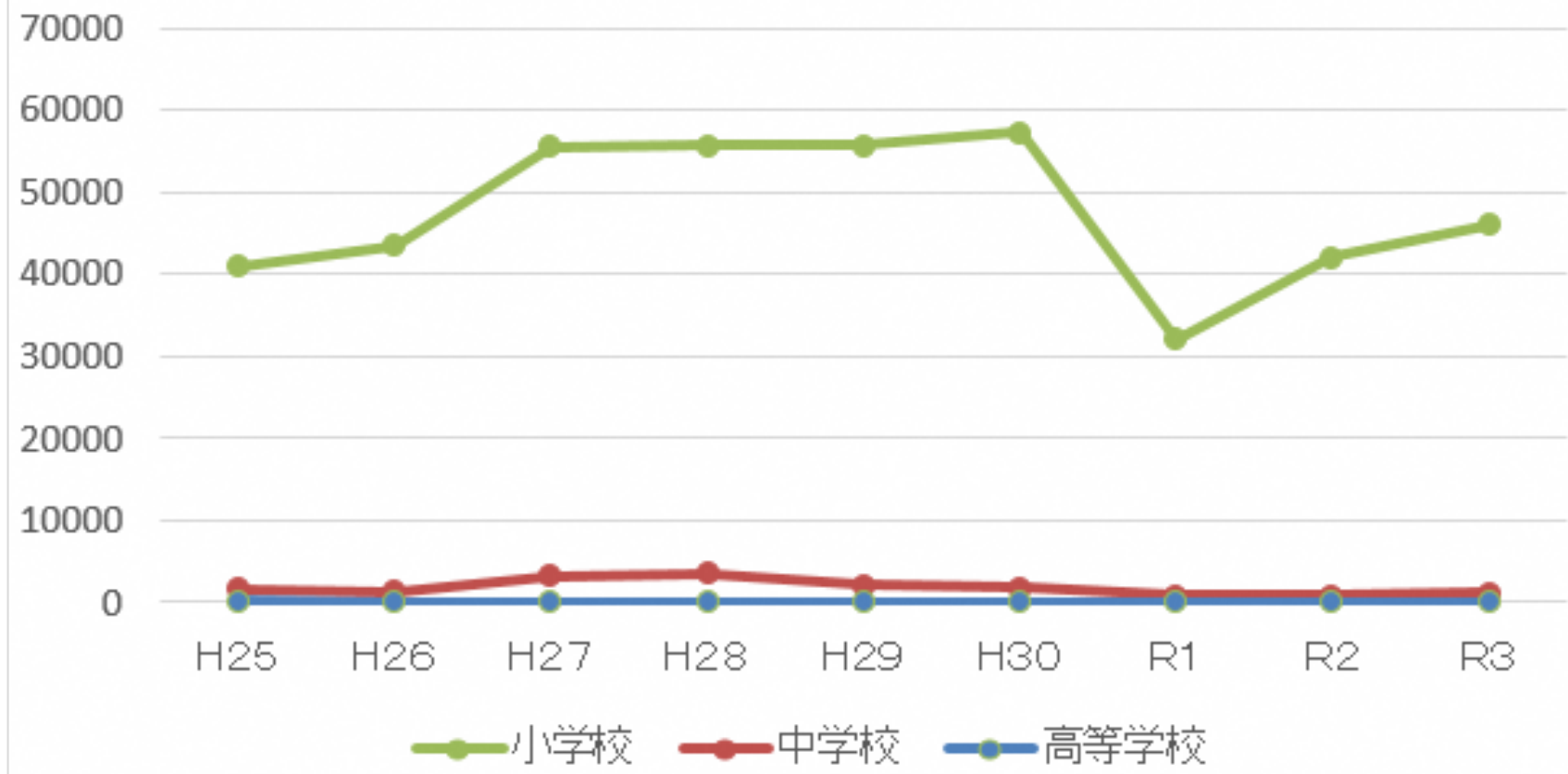
練習問題ダウンロード

※練習問題は、デスクトップ等に保存してお使いください。
 ※練習問題はマクロを含んでいます。Windows版 Microsoft Excel 2007以降のバージョンで動作確認を

1級 2級 3級 4級 5級
 6級 7級 8級 9級 10級
 11級 12級 13級 14級 15級

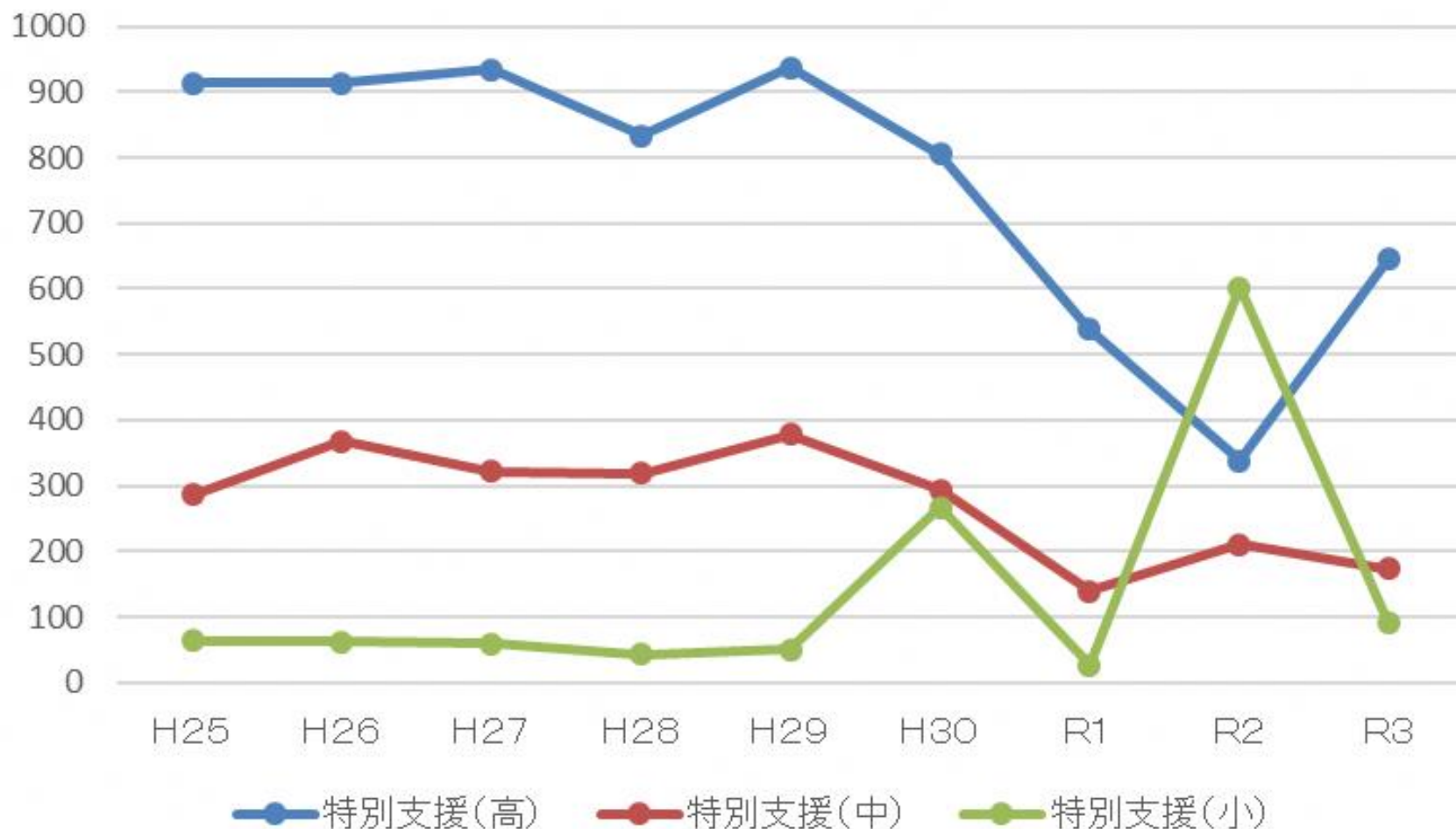


受検者数の推移(H25~R3)※小・中・高



※実施は1年を3期に分け、各期1回実施することができます。
※受検者数は、各期の受験者数を合計した延べ人数です。

受検者数の推移(H25~R3)※特別支援学校



※実施は1年を3期に分け、各期1回実施することができます。
※受検者数は、各期の受験者数を合計した延べ人数です。

3 アンケート調査から

【アンケート調査概要】

- ・ 漢字学習に関するアンケート調査
対象 和歌山県内の高校生（1年生）
回答数 101
- ・ 漢字指導に関するアンケート調査
対象 和歌山県立中学校・高等学校の
国語科教員（教員経験年数別に調査）
回答数 103

3 アンケート調査から ・ 漢字学習の現状

高校生【漢字の学習方法等についての調査】

Q 1 : あなたは、小・中学校のときに、どのように漢字を学習しましたか。

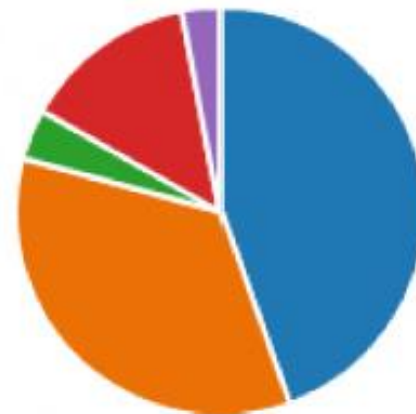
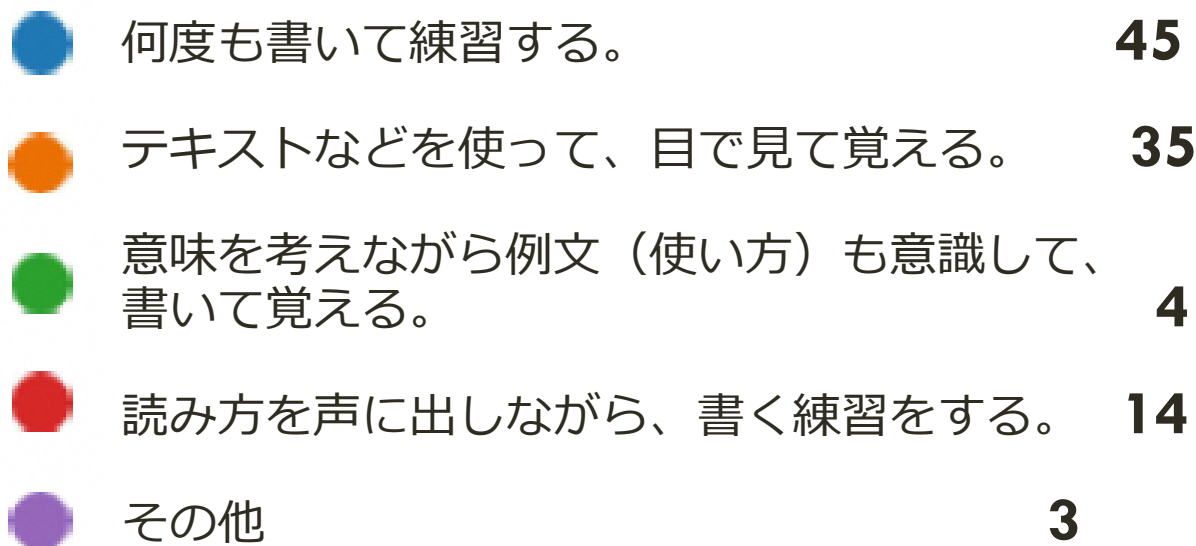
- 授業の中で新出漢字を学習した。 **67**
- テスト等に向けて家で繰り返し練習した。 **30**
- その他 **4**



3 アンケート調査から ・ 漢字学習の現状

高校生【漢字の学習方法等についての調査】

Q 2 : あなたが今行っている漢字の勉強方法に一番近いものを教えてください。



3 アンケート調査から ・ 漢字学習の現状

高校生【漢字の学習方法等についての調査】

Q 1 : あなたは、小・中学校のときに、どのように漢字を学習しましたか。

Q 2 : あなたが今行っている漢字の勉強方法に一番近いものを教えてください。

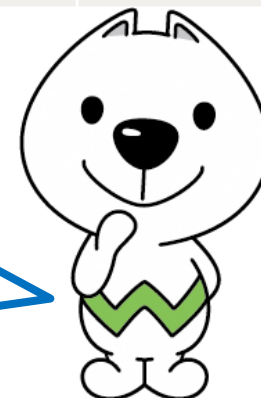
Q 1 \ Q 2	何度も書く	見て覚える	例文を意識	読みを声に出す	その他
授業で新出漢字	29	23	4	11	0
家で繰り返し練習	15	12	0	3	0
その他	1	0	0	0	3

3 アンケート調査から ・ 漢字学習の現状

高校生【漢字の学習方法等についての調査】

Q 1 \ Q 2	何度も書く	見て覚える	例文を意識	読みを声に出す	その他
授業で新出漢字(67人)	29	23	4	11	0
家で繰り返し練習(30人)	15	12	0	3	0

小・中学校において、「授業で漢字学習をした」という意識をもつ生徒のほうが、高校に入ってから学習方法に、例文への意識や他の感覚を使った学習方法をとる傾向がみられました。



3 アンケート調査から ・ 漢字学習の現状

高校生【漢字の学習方法等についての調査】

Q 3 : 漢字を習得する中で困るのはどんなことですか。

- 覚えるのに時間がかかる。 **26**
- 読み方や書き方を覚えても、
時間がたつと忘れてしまうので、
とっさに使えない。 **48**
- 読み方や書き方を覚えていても、
意味まで覚えていないので、
とっさに使えない。 **13**
- 困ることは特にない。 **14**



3 アンケート調査から ・ 漢字学習の現状

高校生【漢字の学習方法等についての調査】

Q 2 : あなたが今行っている漢字の勉強方法に一番近いものを教えてください。

Q 3 : 漢字を習得する中で困るのはどんなことですか。

Q 3 \ Q 2	何度も書く	見て覚える	例文を意識	読みを声に出す	その他
覚えるのに時間がかかる	1 2	8	0	6	0
覚えても忘れてしまう	2 5	1 4	3	5	1
意味まで覚えていない	6	6	0	1	0
困ることはない	2	7	1	2	2

3 アンケート調査から ・ 漢字学習の現状

教員【漢字の指導方法等についての調査】





Q 1 : 教員経験年数 (講師経験年数を含む)



3 アンケート調査から ・ 漢字学習の現状

教員【漢字の指導方法等についての調査】

Q 2 : 現在、漢字に関する指導をどのように行っていますか。 (複数回答可)

-  単元の内容や取り扱う教材等と関連付け、授業の中で漢字を学習する時間を設けている。 **49**/₁₀₃
-  テキストや教材内の漢字等について範囲を指定して学習を促し、小テストや定期考査等で定着度合いを測っている。 **93**/₁₀₃
-  外部の検定試験や県の実施する「漢字の博士試験」を利用している。 **14**/₁₀₃
-  その他 **3**/₁₀₃

ほとんどの教員が、計画的にテスト等で定着を図る取組をしています。また、約半数が、授業の中でも漢字を学習する時間を設けていると回答しました。



3 アンケート調査から ・ 漢字指導の現状

教員【漢字の指導方法等についての調査】

Q 1 : 教員経験年数 (講師経験年数を含む)

Q 2 : 現在、漢字に関する指導をどのように行っていますか。 (複数回答可)

Q 1 \ Q 2	1~5年 (17人)	6~15年 (46人)	16~25年 (11人)	26年以上 (29人)
教材と関連付けて授業内で	6	20	6	17
範囲を指定してテスト	17	44	10	22
外部試験等を活用	1	3	2	8
その他	0	0	1	2

3 アンケート調査から ・ 漢字指導の現状

教員【漢字の指導方法等についての調査】

Q 1 : 教員経験年数 (講師経験年数を含む)

Q 2 : 現在、漢字に関する指導をどのように行っていますか。 (複数回答可)

Q 1 \ Q 2	1～5年 (17人)	6～15年 (46人)	16～25年 (11人)	26年以上 (29人)
教材と関連付けて授業内で	6 /17	20 /46	6 /11	17 /29
	35%	43%	55%	59%

教材の中に出てくる漢字について、授業の中で学習する時間を設けていると回答した教員は、全体では5割弱でしたが、経験年数別にみると、年数の長い教員のほうが、授業内で時間をとって指導している傾向がありました。



3 アンケート調査から ・ 漢字指導の現状

教員【漢字の指導方法等についての調査】

Q3：（Q2で①と回答した場合）どのような指導を行っていますか。



経験年数別に記述内容の傾向を見ると、経験年数の長い教員のほうが、プリント学習以外に、**語彙を増やすことを意識的に取り組んでいる**様子が見られました。

- 多かった意見
- ・ プリントを作成して練習させる
 - ・ 間違いやすい漢字への注意喚起
 - ・ 対義語や類義語等の語彙を増やす働きかけ

- 少数意見
- ・ 漢和辞典の活用
 - ・ 英語に変換
 - ・ 小学校の学習漢字の復習



3 アンケート調査から ・ デジタル時代における漢字に対する意識

高校生

Q 4 : スマートフォンやタブレット、パソコンなどを使う機会が増えたことにより、生活や学習場面の中で、漢字との関わり方に変化を感じることはありますか。(複数回答可)

教員

Q 4 : デジタル化が進む昨今において、漢字に関わって、生徒の変容を感じることはありますか。(複数回答可)



高校生

Q4 : スマートフォンやタブレット、パソコンなどを使う機会が増えたことにより、生活や学習場面の中で、漢字との関わり方に変化を感じることはありますか。(複数回答可)

- 漢字を手書きする機会が減ったことで、漢字を覚えなくなり、それに伴って漢字を使わなくなった。
- スタンプや絵文字などの文字に代わるものや、省略した言葉を使う機会が増えて、漢字や熟語を使わなくなった。
- 動画や写真などで情報を伝えることができるので、漢字を使う必要を感じない。
- 漢字を手書きすることは減ったが、SNSなど、文字でやり取りすることは多くなったので、デジタル上では漢字を使う機会が増えた。
- 漢字を簡単に調べられるので、手書きでも漢字を使うことが多くなった。
- 普通ひらがなで書くような言葉も漢字に変換して使うことが多くなった。
(彷徨う(さまよう)など)
- その他

Q4：スマートフォンやタブレット、パソコンなどを使う機会が増えたことにより、生活や学習場面の中で、漢字との関わり方に変化を感じることはありますか。(複数回答可)

日本経済新聞
2022年3月26日

文 化

「ためらう」と「躊躇う」

阿辻哲次

あつじ・てつじ 1951年大
阪府出身。漢字学者。京大名誉
教授。『遊漢漢字学 中国
には『簡』がない』など著書
多数。

あつじは、
漢字の「簡」が
日本では使われて
いないことを
指摘し、その理由
を説明している。
『簡』は、
漢字の「簡」が
日本では使われて
いないことを
指摘し、その理由
を説明している。

あつじは、
漢字の「簡」が
日本では使われて
いないことを
指摘し、その理由
を説明している。

あつじは、
漢字の「簡」が
日本では使われて
いないことを
指摘し、その理由
を説明している。

あつじは、
漢字の「簡」が
日本では使われて
いないことを
指摘し、その理由
を説明している。

あつじは、
漢字の「簡」が
日本では使われて
いないことを
指摘し、その理由
を説明している。



熊本県「風をこぐ」
(モクシュラ刊)

あつじは、
漢字の「簡」が
日本では使われて
いないことを
指摘し、その理由
を説明している。

あつじは、
漢字の「簡」が
日本では使われて
いないことを
指摘し、その理由
を説明している。

あつじは、
漢字の「簡」が
日本では使われて
いないことを
指摘し、その理由
を説明している。








コンバージョンで最強のソリューション

Corniche
株式会社コーニッシュ
https://www.corniche.co.jp

コーニッシュって？
たとえどんな条件でも
高い精度を
維持するソリューション
まで提供できる。



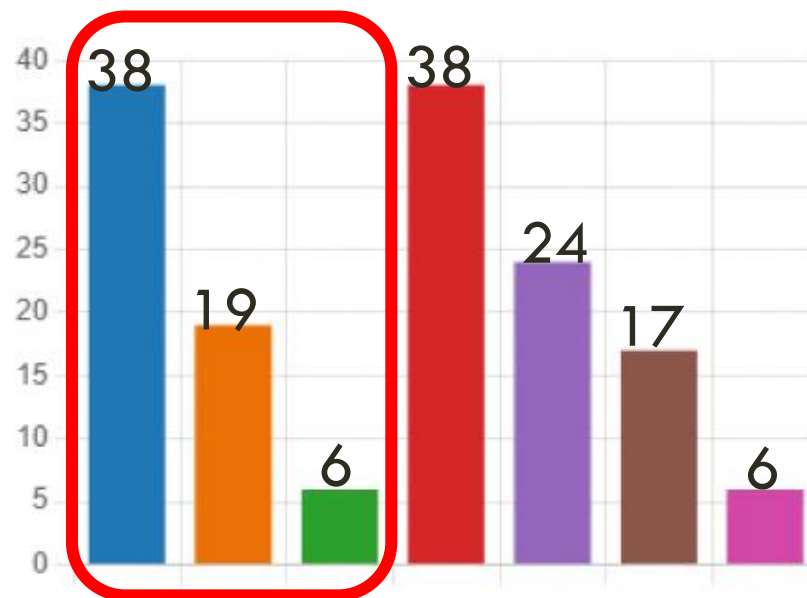
Q4：スマートフォンやタブレット、パソコンなどを使う機会が増えたことにより、生活や学習場面の中で、漢字との関わり方に変化を感じることはありますか。(複数回答可)

-  漢字を手書きする機会が減ったことで、漢字を覚えなくなり、それに伴って漢字を使わなくなった。 **38**
-  スタンプや絵文字などの文字に代わるものや、省略した言葉を使う機会が増えて、漢字や熟語を使わなくなった。 **19**
-  動画や写真などで情報を伝えることができるので、漢字を使う必要を感じない。 **6**
-  漢字を手書きすることは減ったが、SNSなど、文字でやり取りすることは多くなったので、デジタル上では漢字を使う機会が増えた。 **38**
-  漢字を簡単に調べられるので、手書きでも漢字を使うことが多くなった。 **24**
-  普通ひらがなで書くような言葉も漢字に変換して使うことが多くなった。(彷徨う(さまよう)など) **17**
-  その他 **6**

高校生

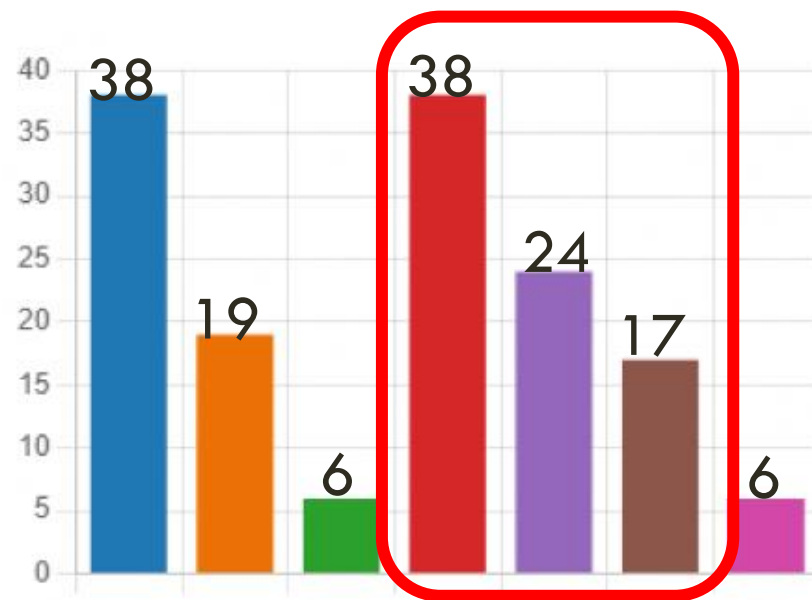
Q 4 : スマートフォンやタブレット、パソコンなどを使う機会が増えたことにより、生活や学習場面の中で、漢字との関わり方に変化を感じることはありますか。(複数回答可)

- 漢字を手書きする機会が減ったことで、漢字を覚えなくなり、それに伴って漢字を使わなくなった。
- スタンプや絵文字などの文字に代わるものや、省略した言葉を使う機会が増えて、漢字や熟語を使わなくなった。
- 動画や写真などで情報を伝えることができるので、漢字を使う必要を感じない。



Q4：スマートフォンやタブレット、パソコンなどを使う機会が増えたことにより、生活や学習場面の中で、漢字との関わり方に変化を感じることはありますか。(複数回答可)

- 漢字を手書きすることは減ったが、SNSなど、文字でやり取りすることは多くなったので、デジタル上では漢字を使う機会が増えた。
- 漢字を簡単に調べられるので、手書きでも漢字を使うことが多くなった。
- 普通ひらがなで書くような言葉も漢字に変換して使うことが多くなった。(彷徨う(さまよう)など)



約4割の生徒が、漢字を使う機会が増えたと回答しています。

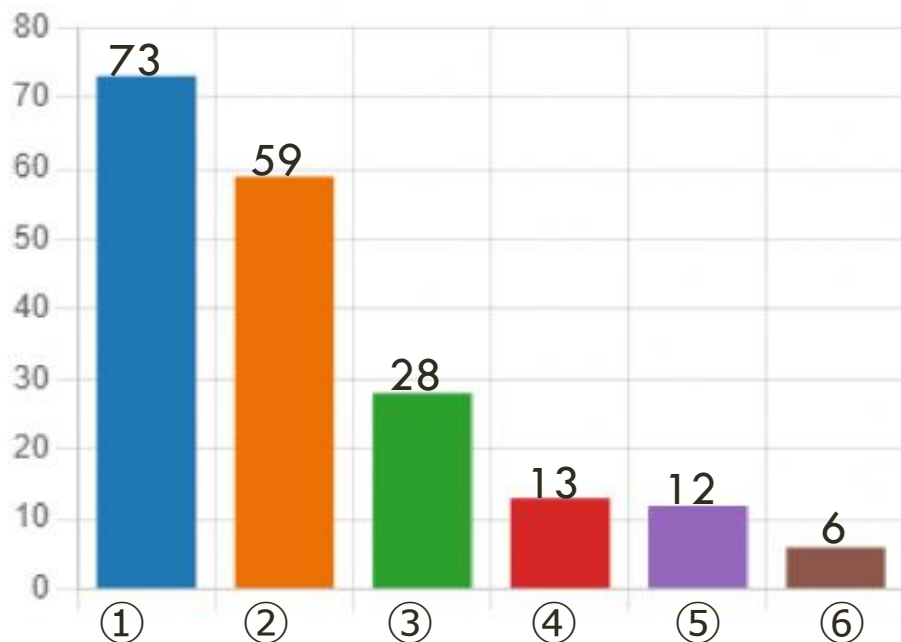


Q 4 : デジタル化が進む昨今において、漢字に関わって、生徒の変容を感じることはありますか。(複数回答可)

- 生徒が漢字を使わなくなっているように感じる。 **73**
- 同音異義語などでの誤りが多くなったように感じる。(漢字の意味を理解した使い分けの力が低下) **59**
- 熟語を省略するなど、正しい言葉遣いを苦手とする生徒が増えたように感じる。 **28**
- 本来ひらがなで書くような言葉まで、漢字に変換することが増えたように感じる。(彷徨う(さまよう)など) **13**
- 特にない。(デジタル化の影響を感じることはない) **12**
- その他 **6**

教員

Q 4 : デジタル化が進む昨今において、漢字に関わって、生徒の変容を感じることはありますか。(複数回答可)

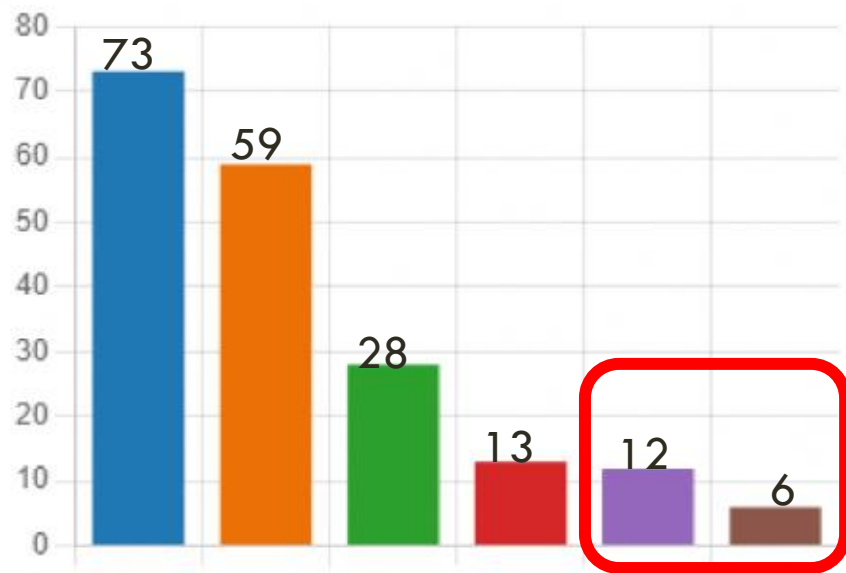


- ①生徒が漢字を使わなくなっているように感じる。
- ②同音異義語などでの誤りが多くなったように感じる。
(漢字の意味を理解した使い分けの力が低下)
- ③熟語を省略するなど、正しい言葉遣いを苦手とする生徒が増えたように感じる。
- ④本来ひらがなで書くような言葉まで、漢字に変換することが増えたように感じる。(彷徨う(さまよう)など)
- ⑤特にない。(デジタル化の影響を感じることはない)
- ⑥その他

①のみ	22名
①②	17名
①②③	17名
①②③④	4名
①②④	5名
①③	5名
①③④	1名
①④	1名
②のみ	15名
②④	1名
③のみ	1名
④のみ	1名
⑤のみ	12名
⑥のみ	1名

教員

Q 4 : デジタル化が進む昨今において、漢字に関わって、生徒の変容を感じることはありますか。(複数回答可)



- 特にない。(デジタル化の影響を感じることはない)
- その他

※「特にない」と回答した人(12名)の教員経験年数

6～15年	5名
26年以上	7名

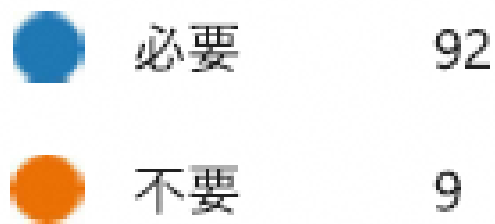
● 「その他」と回答した人(6名)の主な記述内容

- ・ 視覚的に漢字の細部まで意識することが難しい生徒が増えたように感じる。
- ・ 読んだり、正しい漢字を選択したりはできるが、自分で書けない生徒が増えている。
- ・ 略語(?)に慣れた生徒が現れたように感じる。
- ・ 漢字で意味をイメージできにくくなっている。
- ・ 筆圧の弱さを感じる。

3 アンケート調査から ・漢字学習の「これから」

高校生

Q 5 : デジタル化が進む現代において、漢字を学習することは必要だと思いますか。



Q 5 : デジタル化が進む現代において、漢字を学習することは必要だと思いますか。

「必要」と回答した生徒の主な理由

- 漢字を書く必要はなくても読む機会はたくさんあると思うから。
- 漢字がわからないと、正しい漢字の変換ができないから。
- デジタル化が進んでもまだまだ手書きの場面があるから。
- いつ必要になるかわからない、すぐに書けるようにした方がよいと思った。
- 毎回調べることは現実的ではない。
- デジタル化にも限界はある。
- デジタル化が進んでも、画面に表示された字の意味を理解するため。
- 同音異義語などがあるから（漢字でないと）伝わりづらくなる。
- 漢字の方が楽。省略ができる。
- ひらがなよりも文章が読みやすい。文が短縮されて見やすい。
- 文章などを書くときに、漢字を使っていたほうが印象がよくなると思ったから。
- 漢字だけが表現できることがあるから。
- 漢字を書けないのは恥ずかしい。
- 漢字は日本の誇り。日本の文化。
- 不要だと思ってもやっとならばいつか役に立つと思うから。

Q 5 : デジタル化が進む現代において、漢字を学習することは必要だと思いますか。

「不要」と回答した生徒の主な理由

- 漢字を学習することはよいと思うが必要最低限でよいと思う。
- 学びたい人が学べばよい。
- 社会にでるとパソコンで変換することがほとんどで漢字を使うことがほとんどないから。
- 漢字の意味は理解しておく必要があると思うが、機械の方が正しいから。
- 機械がかってに漢字に変換してくれるから。
- スマホでやりとりする機会が多くなるので、基本的な漢字だけ覚えておけばよいと思う。
- スマホがあるので、調べたいときに調べることができるから。
- 覚えるのが大変だから。

3 アンケート調査から ・ 漢字学習の「これから」

教員

Q 5 : デジタル化が進み、漢字を手書きする機会が減少する中で、漢字を学習することについて、自身の考えに一番近いものを選んでください。

- デジタル化が進んでも、手書きでの学習が必要であることは変わらない。
- 時代の変化に合わせて漢字学習の方法も変わるべき。
- 漢字の学習は、今後必要性が薄れていくと思う。

87

14

2



● デジタル化が進んでも、手書きでの学習が必要であることは変わらない。

漢字の習得・運用面とのかかわり

- 社会に出たときにメモを取ることや他人への伝言をするときには手書きを用いる場面がある。
※ほかに、「ホワイトボードを使ってのブレインストーミングなど」も。
- 手書きの機会が減っても同音、同訓異義語などを使い分ける力は変わらず必要だと考える。文字をパソコンなどに入力するときに調べれば困らないという考えもあると思うが、土台がなければ漢字を検索できない。学習方法は、従来の方法に加えて、漢字の成り立ちや用例を豊富なデータで見せることが求められると思う。
- 漢字は正しく情報を伝えるためには必要不可欠なものであり、それはデジタル化が進んでも変わらない。日常的に手書きする機会が減少しているからこそ、意識的に手書きする機会を授業等で設け、確実に知識をつけてほしいと考えている。
- 自分自身、PCを使うようになってから漢字能力が低下したように感じるから。
- 手書きができるデジタルでも対応可能だが、その逆は難しいから。

● デジタル化が進んでも、手書きでの学習が必要であることは変わらない。

漢字の習得・運用面とのかかわり

- 漢字を正確に用いるためには、手書きが最も身につけやすいと考えるため。
- 自身の手指を使って書くことが脳の前頭前野を活性化させる、という研究成果が科学的に実証されており、これを学習方法に活用するのが漢字学習において大変効果的だと考えたため。
- 指先に刺激を与えながら、脳裏にその文字を定着させていく訓練は、絶対に必要だと思うから。
- 手で書きながら文字の形を捉えて、脳を刺激する活動が必要だと思うから。
- 「覚える」という行為には多感覚を用いた学習が効果的である。小学校で効果を上げている指書き・なぞり書き・写し書きといった基礎的な指導は続けていくことが重要。漢字が苦手な生徒に対しては、語彙の発達を促す意味で、読みから学習させるなど、柔軟な指導が必用である。つまづきがどこにあるのかを明らかにするため、特別支援の観点からアセスメントも重要である。
- 字を学ぶということは身体性を伴った知的な規範を学ぶということだと考える。

● デジタル化が進んでも、手書きでの学習が必要であることは変わらない。

漢字の習得・運用面とのかかわり

- 造語力を鍛えるためには、やはり漢字教育は必要だと思う。漢字そのもののもつ意味や、その漢字をつかった熟語などを学習する必要があるって、これを理解、定着させるためには、手書きでの学習が引き続き重要だと考える。
- 打つのではなく、自分の手で"書く"ことで身につく力があると感じるから。
- ひらがなでは推測できない意味を漢字を用いることによって推測することができたり、自分の伝えたい意味で言葉を用いることが可能になったりするため、漢字を学習することは言葉の正しい意味を習得することにつながると考えている。
- 論理的思考を向上させていくためには表意文字としての「漢字」を学習することは大変有効である。そのためにも、生徒達の読書量を増やしていくことが重要だと思う。
- 表意文字である漢字を学習することは、語彙力のみならず理解力、表現力の向上に必須であると考えするため。

● デジタル化が進んでも、手書きでの学習が必要であることは変わらない。

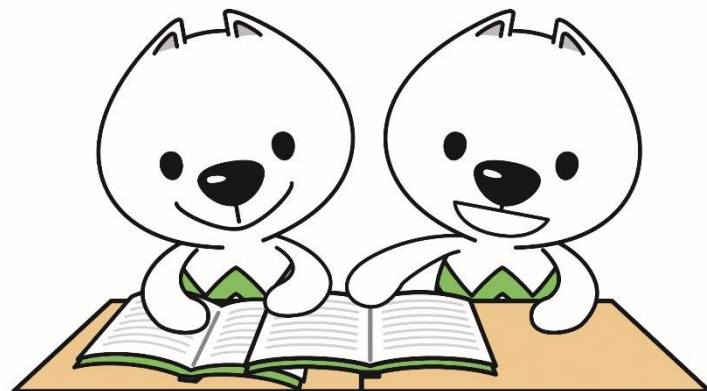
漢字の習得・運用面とのかかわり

- 手書きすることで、漢字の構成や部首などの意味を理解することができ、より漢字に親しむことで、漢字能力の育成に役立つから。
- 書くことによって漢字の字義や成り立ちなどに興味をもつかもせぬ、そこから漢字の誤用も減るかもしれないと考えるため。
- 手書きでの学習は知識をより多く習得することができると思うから。
- いざというとき、平仮名ばかりで読みにくい文章しか書けないのはどうかと思うから。
- 漢字のはね、止め、角度、などは大切であるので手書きでの学習が大切である。
- 今、目の前に自宅の住所がうまく書けずに困っている生徒がいる。もう一度学び直す生徒には、部首のもつ意味や音符について繰り返し話すことを心がけている。

● デジタル化が進んでも、手書きでの学習が必要であることは変わらない。

手書きの文化、個性

- 母国の言葉・文字を知り習得することは自分の思いを表現するという点でも、相手に伝える力を身につけるためにも、また文化の継承という点でも、大切だから。
- 漢字は手で書かれてきた歴史が長く、その歴史を体感するには手書きが最も適しているから。
- 自筆には書き手の心がこもると考える。



● デジタル化が進んでも、手書きでの学習が必要であることは変わらない。

その他

- 学習は、YES・NOの短絡的なものではなく、書き間違いや認識不足等からの出発が大切で、特に漢字はそこからの広がりが必要だと考えているから。
- 書き言葉でものを伝えるとき、その伝え方に選択肢がある方がいいと思ったから。
- 手早くメモし、ワーキングメモリの外部に情報を保持し、更なる思考の発展に結びつけていくような活動などに手書きの重要性は活きているように感じる。デジタル化が進んでも、それは手書き文化の上に成り立っているものであり、土台を崩していいわけがないと思っている。正しい漢字を見て選ぶことはできても、自ら考えて書く力は弱くなると思う。

● 時代の変化に合わせて漢字学習の方法も変わるべき。

- 本人の特性等から手書き自体が困難な場合もあり、無理な指導が学習意欲の低下に繋がる可能性があるため。また、書けない漢字を毎回教員に尋ねるのが苦痛で、考えを深める前に国語自体を嫌いになる生徒もいる。漢字の習得が主たる目的でない場合は、パソコンや携帯電話の使用などは状況に応じて認めてもよいと思う。
- どのようにして興味関心を高めるかが大切だと思う。
- 同音異義語など、意味と合わせて覚えているのなら、手書きかデジタルかは問わなくてもいいのかなと思う。また、発達障害がある場合だと、相手に伝えることを第一に考えるとデジタルで代替するのも一つの方法ではないかと感じる。
- ペーパーレスを進めていく上で、適した漢字の学習方法を模索していくべきだと考えたため。
- 漢字に変換するとき間違いやすい。
- 通信制課程では読み書きが十分でない生徒が多いので、ある程度、アプリ等の補助がある方がよい。

● 漢字の学習は、今後必要性が薄れていくと思う。

- ある程度の読み書きができればそれでよいと考えるから。
- 漢字を手書きすることによる学習効果自体は間違いなく存在すると思うが、今後の社会の変容のなかで、漢字を手書きせねばならない機会そのものは劇的に減ってくると想定できる。結果として漢字の学習をする時間を確保することが求められなくなってくるだろう。



4 まとめ

- ・漢字を、相手への意思伝達のツールとして「使う」という認識を、生徒にもたせる働きかけ
- ・「思考力等を伸ばすために漢字学習は重要」と考えるが、実際の学習は家庭での漢字練習やテストの実施等が中心となってしまう。
→校種間の学習の系統性を意識
- ・ICTの導入により、教材の作成が簡単になった。
→漢字の学習がプリント学習に。
経験豊富な教員から若手教員へ指導力を継承。
- ・多様な生徒への対応などが求められている。
→手書きをICTに取り換えるという考え方ではなく、
新たな視点でICTを活用。



令和4年度国語問題研究協議会
「社会における漢字の現在地」

取組報告②

漢字学習の現状とこれから



ありがとうございました

和歌山県教育庁学校教育局
県立学校教育課
指導主事 石本千夏